

## 5. 計画の実現に向けた進捗管理

### 5.1 取組の目標の設定

本計画で位置づけた目指すべき都市構造に向け、これらの達成状況を示す指標とその目標値を以下のとおり設定する。これらの指標の達成状況を随時、確認し、本計画に係る取組の効果検証を行っていく。

指標	算出方法	基準値	目標値 (2041年)
① 居住誘導区域内人口の用途地域内人口に対する割合  〔※ 市街地全体のうち、どれだけ区域内に居住誘導を図れているかを示す指標。〕	国勢調査及び社人研推計を元にした100mメッシュ人口より算出した、居住誘導区域内人口を、用途地域内人口で除した割合。	現状値：73.1% 推計値：76.3%  〔居住誘導区域内人口 = 現状値：6,693人 = 推計値：4,625人 用途地域内人口 = 現状値：9,158人 = 推計値：6,062人〕	80.0%
② 都市機能誘導区域内における、誘導施設に位置づけた機能の充足率  〔※ 区域内において、誘導すべき都市機能が計画的に立地しているかを示す指標。〕	都市機能誘導区域内に立地している施設機能数を、誘導施設に位置づけた施設機能の種類数で除した割合。	現状：5機能/7機能	7機能/7機能
③ 居住誘導区域内における公共交通の徒歩圏人口  〔※ 居住誘導区域の中で、町民がより公共交通を利用しやすい環境形成を図れているかを示す指標。〕	鉄道駅から半径800m+バス停留所から半径300mの範囲内に居住する人口について、国勢調査及び社人研推計を元にした100mメッシュ人口より算出。	現状値：5,046人 推計値：3,527人	3,700人
④ 『八雲町は住みやすい』とするアンケート回答率（「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた値）  〔※ 本計画における取組が、町民にとって、より住みやすい環境づくりにつながっているかを把握する総合評価的な指標。〕	総合計画に関する町民アンケート調査結果。なお、本アンケート調査は10年に1度の実施を予定しているため、達成状況の把握はそれに合わせて行う。	65.1% (2016年値)	70.0%

## 5.2 計画の進捗管理

行政と住民、民間事業者が共有する、中長期的なビジョンとの位置づけであり、都市計画マスタープランと連動した計画であることから、次期都市計画マスタープランと計画期間の整合を図り、2041年までを目標期間としているが、本計画に基づく各種施策が、今後どの程度効果を発揮したかを評価し、必要に応じ区域や施策等の見直しを行う。そのため、概ね5年ごとのPDCAサイクルを取り入れ、設定した指標とその目標値による効果検証を行いながら、社会状況の変化や関連計画の改定等を踏まえ、施策や事業等の見直しを行う。

その他、北海道新幹線新八雲駅（仮称）周辺整備基本計画や在来線の動向に合わせ、見直しを検討していく。

